

平成 28 年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
遠隔学習プログラム研修講座 事業報告

I 事業の概要

研修テーマ ICTの活用による地域活性化

- 1 趣 旨 持続可能な地域づくりを目指して積極的にICTを活用するためのヒントとなる知識・技術等に関する研修を行うことによって、自治体等職員や地域の指導者の資質向上を図る。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
- 3 期 日 平成 28 年 8 月 5 日 (金)
- 4 会 場 北海道立道民活動センタービル 「かでの 2・7」810 研修室ほか
- 5 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員・学校職員・生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センターなど）職員・青少年教育施設職員等・民間団体（NPO、ボランティア等）関係者・情報教育に関心のある方、地域の学習リーダー 等 30 名
- 6 参加状況 32 名（社会教育関係職員 5 名、社会教育関係職員以外 27 名）

7 日 程

<6月30日(木)>

9:30	10:00	10:15	11:45	13:00	15:30
受付	開会式	基調講義	昼食・休憩	ワークショップ	

8 活動の概要

(1) 基調講義 ICTを活用した地域活性化

～「学ぶ環境」の提供と「持続可能なまちづくり」の推進～

【講師】 楽天株式会社 楽天市場事業地域活性部 部長 塩 沢 友 孝 氏

【内容】 eコマース（=電子商取引）のノウハウを活かし、地域活性化に向けた学びの場の創出や人材の育成について、道内を含め全国の様々な事例が紹介された。また、行政の関わり方については、地域で「自走」できる仕組みをつくるよう地域住民の主体的な活動を支援することが重要であるとの示唆をいただいた。



(2) コース別ワークショップ

Aコース 「効果的なWEBコンテンツの活用」

【講師】 楽天株式会社 楽天市場事業地域活性部 吉川 美幸氏

【内容】 ケーススタディとして、WEB上の店舗が消費者の反応に基づき効果的にホームページの構成を改善した事例や、消費者の共感をもたらす情報の必要性について紹介され、学習情報の発信の在り方について示唆をいただいた。



Bコース 「WEBアクセシビリティを踏まえたホームページデザインのポイント」

【講師】 株式会社向上計画総合研究所 WEBディレクター 萬田 柔氏

【内容】 スマートフォン時代に対応したホームページデザインの工夫の必要性や、アクセス数分析の視点が説明されたほか、様々な配慮や工夫が見られる、企業や市町村のホームページの優れた点について考察した。



Cコース 「再生数がぐんと増える動画の撮影と配信」

【講師】 Lue Cloud ムービークリエイター 大美 志織氏

フォトグラファー 中井 千晶氏

【内容】 スマートフォンを用いた撮影のポイントや、SNS等への配信のポイントについて、実技を交えて演習を行った。また、ユーザーの反応を想定して、受け取る側の心理に訴えかける配信の工夫が必要であることなどが解説された。



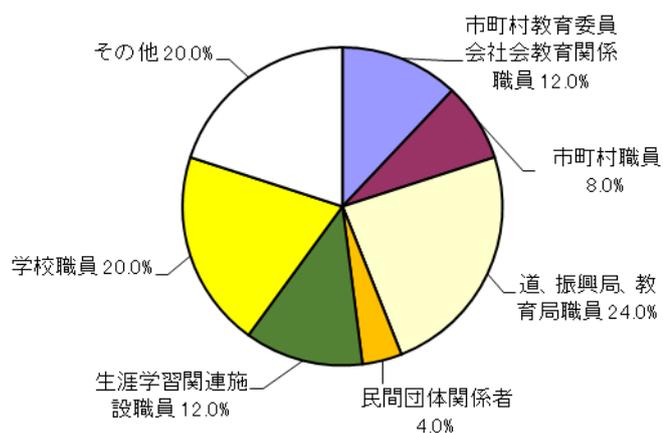
Ⅱ 事業の満足度

1 本講座参加者数 32名

(内訳) 社会教育関係職員の参加者数 7名 (21.9%)
社会教育関係職員以外の参加者数 25名 (78.1%)

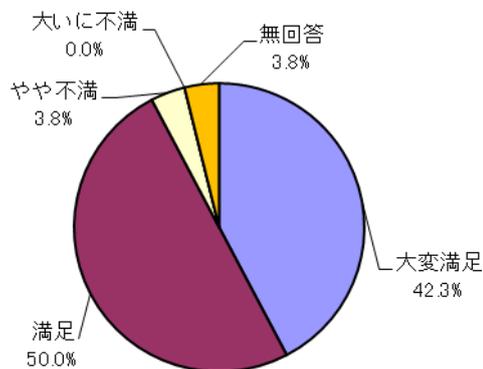
2 アンケート対象者数 32名 回答者数 26名 (回収率 81.3%)

参加者(所属)状況



3 講座全体をとおして

総合満足度	大変満足・満足 92.3%
-------	------------------

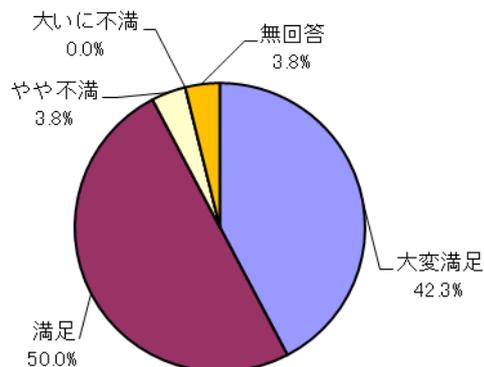


【参加者の主な声】

- 地域活性化につながるeコマース業界の仕事や人材育成について、興味深い話を聞くことができた。
- ICTを活用した地域活性化について、改めて考える契機となった。
- 講師の方の情熱が伝わってくる内容だった。
- 民間企業のスピード感が印象に残った。
- とても実践的な内容だった。

4 研修プログラムの内容について

(1) 基調講義「ICTを活用した地域活性化～『学ぶ環境』の提供と『持続可能なまちづくり』の推進～」

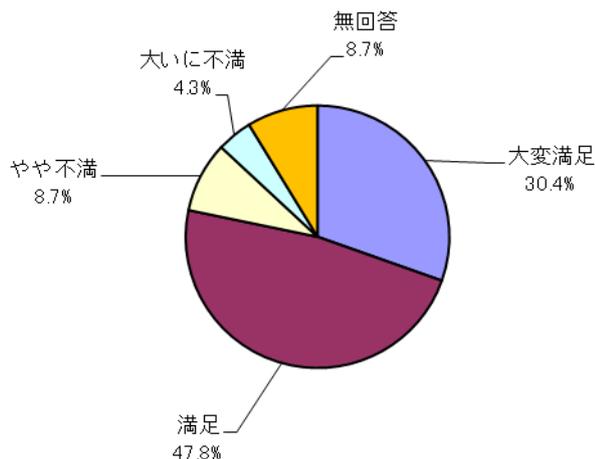


【参加者の主な声】

- eコマースの可能性を感じ取ることができた。これを機に、リアルなコミュニティの形成やまちづくりの発展に向けて、深く考えていきたいと思った。
- 意思決定に関するフレキシブルな対応力が、事業展開のスピード感につながることが分かった。
- 自治体がeコマースを活用する際の留意点を聞くことができたのが良かった。
- 地域おこし協力隊の方々と協力しながら事業を進めていくためのヒントとなった。

(2) ワークショップ

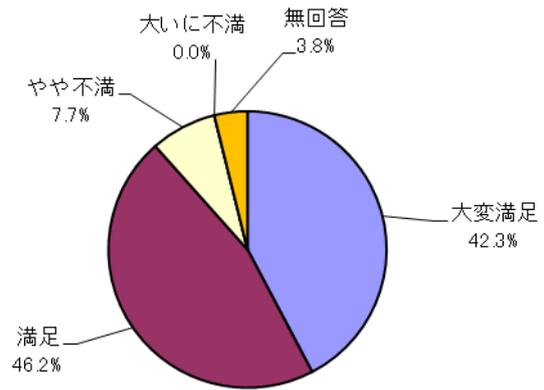
- Aコース 「効果的なWEBコンテンツの活用」
- Bコース 「WEBアクセシビリティを踏まえたホームページデザインのポイント」
- Cコース 「再生数がぐんと増える動画の撮影と配信」



【参加者の主な声】

- ICTを用いながらも、人と人との「共感」が大切だということに気付いた。
- SNSの特徴を明確に理解することができた。
- 一見分かりにくい用語やWEBアクセスの分析の視点について、理解することができた。
- スマートフォンを用いた撮影のテクニックを分かりやすく解説してもらうことができた。
- WEBコンテンツの作成について、もう少し具体的な技術を身に付けたかった。

5 講座の運営について



【参加者の主な声】

- ワークショップが選択でき、希望に沿った内容を学ぶことができた。
- 今後も参加したいと思える内容が設定されていた。

6 その他、本講座をとおして気づいた点

【参加者の主な声】

- 今日的な課題に対応した、タイムリーな内容となっている点良かった。
- より多くの方々に受講してほしいと思う内容だった。
- 部屋同士がつながっていることから、別コースの声が気になったので、ワークショップの会場について配慮が必要だと思った。

7 今後の要望等

【参加者の主な声】

- ・ウェブページのコンテンツ作成についての研修事業。
- ・コンテンツ・ツールの活用についての研修事業。
- ・学習成果を発表するための方法論や発表会の企画を学ぶ研修事業。